

# 平成 29 年度事業評価シート

No.1

PLAN(計画)

自己評価

事務事業番号	23
--------	----

事業区分	一般ソフト事業	事務事業評価の履歴				有
事務事業名	乳幼児・学童歯科保健事業					
予算科目	4 款 1 項 6 目					
予算事業名	歯の健康対策費					
総合計画での位置づけ	安心な子育て環境をつくる					
担当課	健康福祉課	担当課長	國寄 和幸			
事業担当者	上安 由里恵	一次評価者	持松 可奈子			
事業の性格	法定事務					
法令根拠等	健康増進法					
事業の対象	乳幼児から中学生					
事業の目的	乳幼児期からフッ化物を使用し、むし菌になりにくい強い歯をつくるとともに、ブラッシング指導に力を入れた、歯の衛生教育を通して、生涯を通じて歯の健康状態を向上させる。					
実施期間	開始年度	平成 59 年度から				
	終了年度	平成 年度まで				
事業の内容	<乳幼児>集団教育、個別ブラッシング指導、歯科健診 <幼稚園・保育園・小学校>フッ化物洗口(週1回法)、ブラッシング指導、歯ブラシ配布 <中学校>ブラッシング指導、歯ブラシ配布 年1回、学校歯科医、九大歯学部、養護教諭、幼稚園、保育園、歯科衛生士と協議する場として歯科保健連絡会を開催している。					
目的達成の指標	12歳の永久歯の一人当たりむし歯保有数					
	区分年度	単位	28 年度	29 年度	30 年度	31年度
	目標	本	1	1	0.5	0.5
実績	本	0.6	0.6			
指標設定の考え方	健康増進法の指標に「12歳児の一人当たりむし歯保有数を1.0本以下に」と設定されているため。					
事業遂行時懸案事項等	久山町で出生した児に対しては、赤ちゃん訪問や相談、乳幼児健診等の事業を通して、久山町の歯の健康づくりについて説明する機会がある。しかし説明する機会がなかった転入者の中には、むし歯を保有している場合があるため、歯の健康づくりについて周知していく必要がある。					
事業実施時懸案事項対応等	久山町の歯の健康づくりについて、広報やホームページ等を利用して周知を行う。またこれまで小・中学校のみブラッシング指導終了後に保護者宛の文書を作成し配布していたが、保育園・幼稚園には配布していなかった。そのため保育園・幼稚園にも配布し、幼児期の子どもをもつ家族に対しても歯の健康づくりに対する意識づけを行った。					

# PLAN(計画)

## 事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 443 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項 目		28 年度予算	29 年度予算	30 年度予算	31 年度予算
事務量	① 人工数	0.15	0.33	0.33	0.33
	② 人件費単価	7,289	7,381	7,350	7,350
	③ 補助事業人件費				
	人件費(①×②-③)	1,093	2,435	2,425	2,425
事業費	直接事業費	2,400	1,472	1,457	1,457
	人件費	1,093	2,435	2,425	2,425
	合 計	3,493	3,907	3,882	3,882
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	3,493	3,907	3,882	3,882
合 計	3,493	3,907	3,882	3,882	

## 事業費計画

(千円)

区分/年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	32 年度
目 標	2,400	1,472	1,457	1,457	1,457
実 績	2,175	1,472			

## 事業活動の実績(活動指標)

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
幼児歯科健診受診者数	人	284	290	390	390
		284	386		
フッ化物洗口実施者	人	818	820	820	820
		818	819		
乳幼児ブラッシング指導実施者数	人	210	220	220	220
		210	223		
学童ブラッシング指導実施者数	人	374	380	380	380
		374	387		

# DO(実施)

## 事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 434 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項 目		28 年度決算	29 年度予算	29 年度決算	
事務量	① 人工数	0.15	0.33	0.33	
	② 人件費単価	6,768	7,381	7,129	
	③ 補助事業人件費				
	人件費(①×②-③)	1,015	2,435	2,352	
事業費	直接事業費	2,175	1,472	1,472	
	人件費	1,015	2,435	2,352	
	合 計	3,190	3,907	3,824	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	3,190	3,907	3,824	
合 計	3,190	3,907	3,824		

## 実施備忘録

自己評価 評価者 上安 由里恵

5段階評価で評点を付けます。  
5 大 ←→ 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	4	B
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	4	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	4	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	4	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input checked="" type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。		A
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	4	
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	4	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	4	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	4	B
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	4	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	4	
②効率性		
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	5	A
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	5	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
③公平性・透明性		
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	4	A
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	4	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	5	

今後の方向性	見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 重点化	<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま維持	<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> 事業完了	<input type="checkbox"/> その他

4. 自己評価の理由(必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から)

乳幼児期から歯の健康づくりに取り組むことで、日常生活の中でも習慣化し、成人期の歯の健康づくりにもつながっていく。  
 また転入者にも久山町の健康づくりを周知することで、歯の健康づくりの重要性を理解してもらうことができると考えるため、ホームページや広報、ブラッシング指導終了後の保護者宛の文書を活用した周知は効果的である。  
 また日頃から校医、教育委員会、養護教諭、幼稚園、保育園、九州大学、歯科衛生士と連携をとることができ、さらに年1回久山町の現状や課題について検討する場を設けているため、関係者全員が共通認識をもって事業に取り組むことができている。

5. 成果実績の評価(今後の方向性等について具体的に)と課題認識

最近、学童の歯肉の炎症が多いという現状がある。ブラッシング指導等を利用して、むし歯だけでなく、口腔全体をみていく必要がある。さらに保護者に対しても仕上げ磨きの必要性など情報提供をしていく必要がある。  
 また久山町では「12歳児の一人当たりむし歯保有数を1本以下」を目標の一つとして掲げている。平成27年は0.7本、平成28年・29年は0.6本と目標を達成できている。そのため平成30年度は0.5本以下を目標として事業を行っていきたい。

一次評価	評価者	持松 可奈子
------	-----	--------

5段階評価で評点を付けます。  
5 大 ↔ 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	4	B
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	4	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	4	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	4	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input checked="" type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。	5	A
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	4	
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	4	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	4	
3. 実施内容は適切か？		
<b>①有効性</b>		
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	4	B
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	4	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	4	
<b>②効率性</b>		
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	5	A
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	5	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
<b>③公平性・透明性</b>		
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	4	A
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	4	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	5	

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了

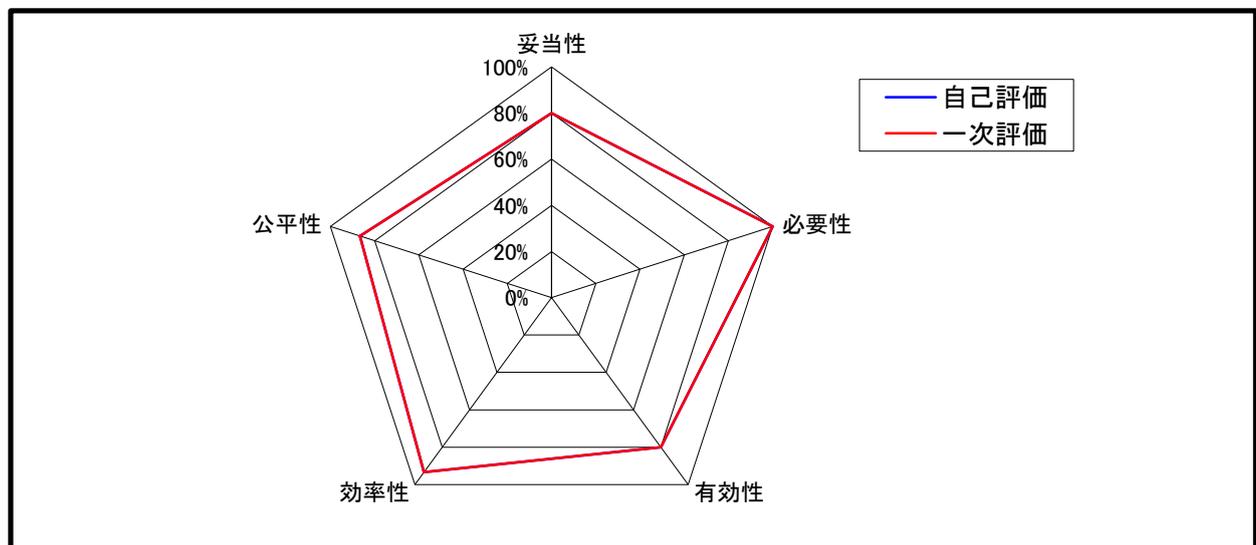


見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

乳幼児期から中学校卒業まで歯の健康づくり事業に取り組んでおり、関係機関と十分な連携を図ることで、目標が達成できている。  
虫歯予防だけでなく、口腔内の健康状態の改善を図るために、関係機関と指導内容や保護者への周知内容の検討を行う必要がある。

自己評価・一次評価の傾向



**二次評価**

評価者

國壽 和幸

- 一次評価結果により、以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を進める。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断する。

子供の虫歯予防及び早期の治療につながっていると考えられるので、このまま事業を継続していく。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。

- 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。

一次評価をやり直し、  
月 日  
までに事務局へ提出すること。



- 住民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを外部評価委員会に諮ることとする。

- 一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

外部評価委員会で評価する。  
月 日  
開催予定



- 一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

評価終了  
 外部評価へ

**事務事業の改善案**

手段	
内容	

**外部評価**

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	
----	--

**外部評価委員の意見**

**経営者会議**

経営者評価	
-------	--

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	
----	--

**経営者会議の評価**